

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:66単位
 全学共通科目:28単位
 広域選択:30単位

■必修:8単位
 ■選択:58単位

成長のプロセス	1年次	2年次	3年次	4年次
必修	<ul style="list-style-type: none"> •ミクロ経済学 	<ul style="list-style-type: none"> •経済理論・資本の原理a/b 		
選択	<ul style="list-style-type: none"> •マクロ経済学 •基礎情報処理I-II •経済学入門a/b •キャリア・デザインa/b 	<ul style="list-style-type: none"> •演習I 	<ul style="list-style-type: none"> •演習II •ビジネス・インターンシップa/b 	<ul style="list-style-type: none"> •演習III •卒業研究 •会計プロフェッショナルクラスIII(会計士/税理士)
		<ul style="list-style-type: none"> •会計プロフェッショナルクラスI(会計士/税理士) 		
		<ul style="list-style-type: none"> •会計プロフェッショナルクラスII(会計士/税理士) •商学科の専門教育科目(P45)※一部2年次より履修可能な科目があります。 •現代応用経済学科の専門教育科目(P47)※一部2年次より履修可能な科目があります。 •情報経済システム論a/b 		
	<ul style="list-style-type: none"> •経済学史a/b •経済政策a/b •経済史a/b •金融論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> •キャリア・デザイン応用a/b •会計研究A(1)~(8) •会計研究B(1)~(8) •IT研究I~V •ITインターンシップI~IV •応用ミクロ経済学a/b •応用マクロ経済学a/b •計量経済学a/b •経済統計a/b •景気循環論a/b •現代資本主義論a/b •日本経済史a/b 	<ul style="list-style-type: none"> •西洋経済史a/b •農業政策a/b •工業政策a/b •中小企業論 •中小企業政策論 •交通政策a/b •経済地理a/b •公共経済学a/b •地方財政論a/b •国際金融論a/b •人口論a/b •教育経済論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> •環境経済論a/b •アジア経済論a/b •中国経済論a/b •現代アメリカ経済論a/b •現代ヨーロッパ経済論a/b •新興国経済論a/b •上級簿記a/b •プログラミング論a/b •応用情報処理I-II •経済外国書講読I-II(a/b) •憲法a/b •民法一部a/b
		<ul style="list-style-type: none"> •財政学a/b •日本経済論a/b •社会政策a/b •国際経済論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> •経済理論・経済システムの原理a/b •経済数学a/b •会計学総論a/b •簿記論a/b 	<ul style="list-style-type: none"> •民法二部a/b •商法一部a/b •商法二部a/b •経済法a/b •労働法 •行政法a/b •国際法a/b •教員試験特別演習 •アントレプレナーシップ養成講座 •市民と経済学 •社会思想史
				<ul style="list-style-type: none"> •現代経済事情I-II •現代産業事情I~III •特殊講義I-II

卒業論文テーマ・研究課題例

- スタートアップ・エコシステム政策が生む持続可能な地域づくり
- 日本の水産物流通における仲卸の必要性
- 商品パッケージが消費者に与える影響
- 都市近郊における駅前再開発:入居駅周辺整備事業を事例として
- 原発誘致政策と地域開発:地域活性化の視点からみる原発政策
- サステナブルファイナンス:ESGの課題と今後日本が目指すべき姿

Topics

5つのコース



非常に幅広いフィールドを研究対象とする経済学。経済学科では「経済学」、「金融・財政」、「産業情報」、「国際経済」、「生活・環境」の計5コースを設定しています。その中からそれぞれ興味のある分野を選んで、確実に学識を深めることができます。コース制で身につけた体系的な専門知識は、どのような進路を選ぶにしてもきっと役に立つはず。

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1 生命と環境	教育基礎論	学習発達論	心理学の基礎	国際法a	
	2 日本経済史a	中小企業論	生徒指導論	人口論a	アジア経済論a	
	3 現代アメリカ経済論a	国際金融論a	英語IIAa	宗教学概説	自然地理学概説	
	4 英語IIBa	農業政策a	演習I		日本史概説	
	5		教育方法論			
	6		地誌学概説			
後期	1 地球と生命の歴史	教育制度・環境論	特別活動論	人間の心理を考える	国際法b	
	2 日本経済史b	中小企業政策論	教育課程論	人口論b	教育相談	
	3 現代アメリカ経済論b	国際金融論b	英語IIAb	宗教学概説	自然地理学概説	
	4 英語II Bb	法学の基礎	演習I		世界史概説	
	5				日本史概説	
	6		地誌学概説			

履修のポイント

1年次に履修した「人文地理学の基礎」では、世界の地理を土地や人口、経済などの様々な視点から学ぶことができました。教職課程の科目である「社会科教育法」では、社会科をなぜ学ぶのか? という素朴な疑問に対し、その意義や学びによる成長を感じさせる実のある社会科の授業をするためのノウハウや考え方を身につけることができます。

学びから得たこと

経済学の基礎的な知識だけでなく、幅広い教養が身につけられるので、一つの課題に対しても経済格差、教育、人口、宗教など、様々なアプローチから捉えられるようになりました。一つの見方ではなく、多様な視点から物事を考えることが大事だと気づくことができました。

Message

授業で学んだことを活かし、理想とする教師を目指す。

世界の国やその関係、そこで起きていることなどに興味があり、将来は社会科の教員を目指しているのが、経済と社会について幅広く学ぶことができる学部として経済学科を志望しました。現在は生徒に寄り添った人間味のある教師になるために、現役中学生と関わる場として集団塾と個別塾で塾講師のアルバイトを行い、「個の集まりである集団」と「集団の中の個」どちらも学び、理想とする教師像に近づくため努力をしています。社会科が好きで生徒を一人でも増やし、誰かに流されるのではなく、自分の意志をもって自らの考えをしっかりと発信し、物事を色々な面から正しく考えることができ、複雑化していく社会の中で生きていくための『自分』を持った生徒を育てられる教師になりたいです。そのためにも人間の心理・発達や『社会科』を通じた子どもの教育法など、授業で学んだことを沢山活かしていきたいと思っています。

内田 大和さん
 経済学科 3年
 相洋高等学校 出身

